

【平成 28 年 4 月から平成 28 年 12 月までに中央 3 階病棟において大腿骨の骨折に対して手術療法を受けられた患者さん方へ】

当研究の対象者として該当される方にお知らせ致します。対象とされることを希望されない場合や疑問点などがありましたら、お手数ですが下記連絡先までご連絡ください。

【研究タイトル】

大腿骨近位部骨折術後*¹における、術後せん妄*²に関する実態調査

*1: 大腿骨近位部骨折術後とは、大腿骨の付け根から太もも付近の骨折を手術したあとのことをいいます。

*2: 術後せん妄とは、術後せん妄とは、意識・認知機能（物事を認識する能力・知覚・注意）が障害される状態なのです。主に術後の痛みや麻酔の影響、さらに環境の変化や元々かかられているご病気そのものから引き起こされることもあります。手術後の患者さん 10～60%に生じる可能性があります。

【研究背景・目的】

飯塚病院中央 3F 整形外科病棟では、年間約 120 例の大腿骨近位部骨折に対して早期に手術を行っています。早く手術を行い、早くリハビリを行うことで、患者さんの QOL（生活の質）を保つ事が可能と考えられます。しかし社会は高齢化に伴い、術後せん妄の問題がクローズアップされています。術後せん妄になってしまうと、普段では見られないような興奮状態、あるいは鎮静状態（認知症がすすんだように見えることもあります）となり、リハビリテーションが思うように進まず回復が遅れることがあります。術後せん妄を生じると、リハビリの進行が遅れるなど、術後の合併症リスクが上がる可能性があります。術後せん妄の原因は多岐にわたると言われています。そのため、入院時から術後せん妄発症リスクの大きさを評価して、必要な予防的介入を早期から行っていく事が大切であると考えられています。現在、中央 3 階病棟の看護師を対象に、術後せん妄発症リスクの大きさを評価するシートのつけ方の学習を行っています。さらに飯塚病院リエゾン精神科作成の、術後せん妄薬物マニュアルの導入を検討しています。これらの介入の効果確認のため事前調査として、また、当院での、術後せん妄リスク因子の抽出を目的とした調査が必要と考えられこの度この研究を行うこととなりました。

【研究期間・取得情報】

・研究期間：平成 29 年 5 月 20 日から平成 29 年 12 月 31 日

- ・対象：平成28年4月1日～平成28年12月31日までに中央3階病棟において大腿骨の骨折に対して手術療法を受けられた患者さん
- ・取得情報：[基本患者情報] 性別、年齢、身長、体重、疾患名、手術名、手術部位、手術時間、麻酔の種類、疼痛の大きさ、入院前及び病室環境（個室・大部屋など）、元々のご病気、喫煙、飲酒、視力や聴力障害の有無、骨折前の生活況、睡眠状況
[術後せん妄関連項目] 術後せん妄発症の有無、止むを得ず実施した身体拘束の有無、内服薬の種類
[臨床検査所見] 術後1日目～7日目までの血液検査の値
[危険予知関連] 転倒転落のリスク、転倒転落の有無、転倒転落予防対策内容

【個人情報の取扱い】

研究の際の個人情報の取り扱いは、研究責任者により厳重に管理され、外部への研究発表の際には患者さん個人を特定する情報は含まないようにして行います。

研究の対象となることを望まない旨の申し出があった場合には、ただちに研究対象から除外します。なお、匿名化（データの識別のために個人を特定できる情報を番号・記号等に置き換えること）を行った後の患者さんの情報については、研究から除外できない場合もありますのでご了承下さい。

【診療記録(カルテ)等の開示について】

当院は、研究に使用しました患者さんの診療記録等について、患者さんが開示を求められた場合には、遅滞なく内容を確認し、当院の「患者情報の提供等に関する指針」に従って対応いたします。当院の診療記録等に関してのご質問や患者さんの個人情報のお問い合わせは、下記、「問い合わせ先」にてお受けいたします。

- ・診療記録を複写・印刷する場合の料金：枚数×20円＋消費税

【研究組織】

研究責任者：飯塚病院 リエゾン精神科 光安 博志

【問い合わせ先】

〒820-8505

福岡県飯塚市芳雄町3-83

飯塚病院 中央3階病棟 師長 新鹿 深夏

TEL：0948-22-3800（代表）